

令和 6 年度

広島大学

スポーツセンター

年報

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ①

●担当部門 : 教育・研究部門

●継続・新規・単年度 : 継続

●事業名称 :

広島大学体育系部活動でのスポーツ外傷・障がい発生の現状とデータベースの構築

●事業概要 :

大学スポーツ協会（UNIVAS）が実施する大学スポーツの振興を目的とした活動が始まっている。大学スポーツ選手の安全と健康を守るためにスポーツ外傷・障がい予防への取り組みが重要である。本事業は、そのためのデータベースづくりを行うために、広島大学体育系に位置づけられる部活動へのヒアリング調査とフィジカルチェックの実施を目指す。令和 6 年度は昨年度実施した部活動に対して、フィジカルチェックへの継続的な参加を促すことを目的に進めていく。

●事業実績 :

広島大学スポーツセンターの責任者より広島大学体育会部活動に対してフィジカルチェックの実施希望を聴取し、実施希望の回答が得られた部活動に測定を行った。フィジカルチェック実施後は各選手でフィードバック用紙を作成し、別日に対面でのフィードバックを行った。これらを学術活動として、1 本の論文を作成し採択済みである。また、全国規模の学会で本事業の活動に関する発表を 4 回行った。今年度の反省は複数の部活動において同時に日程調整を行った結果、調整が難航し、一部の部活動では実施が困難となったことである。今後は測定項目の再検討を行うとともに、複数の部活動で共通して実施可能な仕組みの構築が求められる。

●成果 :

今年度も昨年度と同様に広島大学体育会部活動を対象にフィジカルチェックを実施した（図 1）。今年度は 5 クラブの選手 67 名を対象にフィジカルチェックを実施した。実際の測定では柔軟性（開脚、股関節伸展角度、立位体前屈）、瞬発力（垂直跳び、全身反応時間）、バランス（片脚立位時間【静的】、DPSI【動的】）、筋力（握力、膝伸展筋力、背筋力）、下肢のアライメント評価、肩の可動性評価、姿勢評価を行った。測定機器については本事業の予算からジャンプ高を測定できる小型 VBT デバイスや、スイングスピードを計測できるスピードテスターを新たに購入することでフィジカルチェックを効率化するとともに、選手の競技特性を考慮しながら実施することができた。

令和 6 年度スポーツセンター事業報告



図 1. フィジカルチェック実施の様子

測定したデータを選手へ還元するために、独自のフィードバック用紙を考案し、個別にフィードバックを実施した。フィードバック用紙には、昨年度のをさらに改良し、各測定項目の測定値に加え、部活動ごとの平均値、部内順位、全体平均を記載しており、選手が自身の立ち位置を把握しやすい構成としている。さらに、柔軟性・筋力・バランス・パフォーマンス・俊敏性の 5 項目においては T スコアを算出し、全体平均と個人結果を視覚的に比較できるよう工夫を行った（図 2）。

本年度は、これらのフィードバックに加え、選手の安全かつ健康的な競技実施を支援する取り組みとして、フィジカルチェックの実施前後にアンケート調査を導入した。本アンケートは、フィジカルチェックおよびフィードバックに対する満足度、ならびに傷害予防やセルフケアに対する意識の変化を把握することを目的としている。実際の測定の前後で調査を行うことで、本活動が選手にとってどのような価値を持ち、競技生活にどのような影響を与えているのかを可視化し、今後の活動内容や提供方法の改善に役立っているかを検証した。なお、アンケート項目については、今後さらに内容を充実させるべく再検討を進めている。

フィードバック時には選手の要望に合わせて、測定項目の意義や、現在の身体の不調、弱点に対するトレーニング方法について情報を提供した。さらに、フィードバックの際に希望があった選手に対して傷害受傷後のフォローアップを実施した（図 3）。疼痛が出現する動作とタイミングを丁寧に聴取し、触診や視診なども踏まえてテーピング指導を実施した。毎練習後に SNS を用いて患部の状態を確認し、最終的には疼痛の自己管理につながることができた。

現在はフィジカルチェックおよびフィードバック時の選手、関係者の声を参考に、測定項目の再検討やフィジカルチェック後のフォローアップについて関係者間でミーティングを実施している。

令和6年度スポーツセンター事業報告

広島大学 バレーボール部																																																																																																															
氏名： XXXXXXXXXX			立位写真		前から見た立位姿勢		横から見た立位姿勢																																																																																																								
基本情報 <table border="1"> <tr><td>年齢</td><td>(歳)</td><td>20</td></tr> <tr><td>身長</td><td>(cm)</td><td>162.5</td></tr> <tr><td>体重</td><td>(kg)</td><td>57.4</td></tr> <tr><td>BMI</td><td>(kg/m²)</td><td>21.7</td></tr> <tr><td>筋骨格率</td><td>(%)</td><td>30.5</td></tr> <tr><td>皮下脂肪率</td><td>(%)</td><td>20.7</td></tr> <tr><td>体脂肪率</td><td>(%)</td><td>21.7</td></tr> </table> 足部形態 (cm) <table border="1"> <tr> <th></th> <th colspan="2">左足</th> <th colspan="2">右足</th> </tr> <tr> <th></th> <th>立位</th> <th>座位</th> <th>立位</th> <th>座位</th> </tr> <tr> <td>足長</td> <td>24.9</td> <td>24.3</td> <td>24.9</td> <td>24.5</td> </tr> <tr> <td>舟状骨高</td> <td>3.5</td> <td>4.3</td> <td>3.2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>足背高</td> <td>6</td> <td>6.4</td> <td>5.8</td> <td>6.2</td> </tr> </table>										年齢	(歳)	20	身長	(cm)	162.5	体重	(kg)	57.4	BMI	(kg/m ²)	21.7	筋骨格率	(%)	30.5	皮下脂肪率	(%)	20.7	体脂肪率	(%)	21.7		左足		右足			立位	座位	立位	座位	足長	24.9	24.3	24.9	24.5	舟状骨高	3.5	4.3	3.2	4	足背高	6	6.4	5.8	6.2																																																								
年齢	(歳)	20																																																																																																													
身長	(cm)	162.5																																																																																																													
体重	(kg)	57.4																																																																																																													
BMI	(kg/m ²)	21.7																																																																																																													
筋骨格率	(%)	30.5																																																																																																													
皮下脂肪率	(%)	20.7																																																																																																													
体脂肪率	(%)	21.7																																																																																																													
	左足		右足																																																																																																												
	立位	座位	立位	座位																																																																																																											
足長	24.9	24.3	24.9	24.5																																																																																																											
舟状骨高	3.5	4.3	3.2	4																																																																																																											
足背高	6	6.4	5.8	6.2																																																																																																											
アライメント			O脚																																																																																																												
FPI (点)			左	1	右	4																																																																																																									
0～+5正常、+6～+9扁平足、-1～-4ハイアーチ(Oleksy, et al, 2010)																																																																																																															
関節弛緩性 (点)			陰性	1.5																																																																																																											
4.5点以上：関節弛緩性陽性、4.5点未満：陰性（鈴木ら、2018）																																																																																																															
測定項目 <table border="1"> <tr> <th>測定項目</th> <th>測定値</th> <th>順位</th> <th>全体平均</th> </tr> <tr> <td>開脚 (°)</td> <td>115</td> <td>5</td> <td>128.6</td> </tr> <tr> <td>柔軟性</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>股関節 左 (°)</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>10.6</td> </tr> <tr> <td>伸張 角度 右 (°)</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>立位体前屈 (cm)</td> <td>13.9</td> <td>4</td> <td>14.6</td> </tr> <tr> <td>瞬発力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Squat Jump (cm)</td> <td>37.5</td> <td>1</td> <td>31.2</td> </tr> <tr> <td>Counter Movement Jump (cm)</td> <td>38</td> <td>1</td> <td>32.4</td> </tr> <tr> <td>反応速度 (s)</td> <td>0.271</td> <td>1</td> <td>0.300</td> </tr> <tr> <td>バランス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉眼 片脚 立位 時間 左 (s)</td> <td>60</td> <td>1</td> <td>47.2</td> </tr> <tr> <td>右 (s)</td> <td>60</td> <td>1</td> <td>51.6</td> </tr> <tr> <td>筋力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>握力 左 (kg)</td> <td>34.9</td> <td>1</td> <td>31.6</td> </tr> <tr> <td>右 (kg)</td> <td>34.3</td> <td>2</td> <td>32.7</td> </tr> <tr> <td>膝伸展 筋力 左 (kg)</td> <td>80</td> <td>1</td> <td>54.8</td> </tr> <tr> <td>右 (kg)</td> <td>84</td> <td>1</td> <td>58.6</td> </tr> <tr> <td>背筋力 (kg)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>パフォーマンス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>前方ボール投げ (m)</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>後方ボール投げ (m)</td> <td>13.7</td> <td>2</td> <td>12.4</td> </tr> <tr> <td>上体起こし (回)</td> <td>29</td> <td>2</td> <td>26.4</td> </tr> </table> 判定 <table border="1"> <tr> <th>柔軟性</th> <th>瞬発力</th> <th>バランス</th> <th>筋力</th> <th>パフォーマンス</th> </tr> <tr> <td>Tスコア</td> <td>42.1</td> <td>61.7</td> <td>57.6</td> <td>62.3</td> </tr> </table> Tスコア										測定項目	測定値	順位	全体平均	開脚 (°)	115	5	128.6	柔軟性				股関節 左 (°)	11	2	10.6	伸張 角度 右 (°)	9	5	12.2	立位体前屈 (cm)	13.9	4	14.6	瞬発力				Squat Jump (cm)	37.5	1	31.2	Counter Movement Jump (cm)	38	1	32.4	反応速度 (s)	0.271	1	0.300	バランス				閉眼 片脚 立位 時間 左 (s)	60	1	47.2	右 (s)	60	1	51.6	筋力				握力 左 (kg)	34.9	1	31.6	右 (kg)	34.3	2	32.7	膝伸展 筋力 左 (kg)	80	1	54.8	右 (kg)	84	1	58.6	背筋力 (kg)	—	—	—	パフォーマンス				前方ボール投げ (m)	12	1	9.8	後方ボール投げ (m)	13.7	2	12.4	上体起こし (回)	29	2	26.4	柔軟性	瞬発力	バランス	筋力	パフォーマンス	Tスコア	42.1	61.7	57.6	62.3
測定項目	測定値	順位	全体平均																																																																																																												
開脚 (°)	115	5	128.6																																																																																																												
柔軟性																																																																																																															
股関節 左 (°)	11	2	10.6																																																																																																												
伸張 角度 右 (°)	9	5	12.2																																																																																																												
立位体前屈 (cm)	13.9	4	14.6																																																																																																												
瞬発力																																																																																																															
Squat Jump (cm)	37.5	1	31.2																																																																																																												
Counter Movement Jump (cm)	38	1	32.4																																																																																																												
反応速度 (s)	0.271	1	0.300																																																																																																												
バランス																																																																																																															
閉眼 片脚 立位 時間 左 (s)	60	1	47.2																																																																																																												
右 (s)	60	1	51.6																																																																																																												
筋力																																																																																																															
握力 左 (kg)	34.9	1	31.6																																																																																																												
右 (kg)	34.3	2	32.7																																																																																																												
膝伸展 筋力 左 (kg)	80	1	54.8																																																																																																												
右 (kg)	84	1	58.6																																																																																																												
背筋力 (kg)	—	—	—																																																																																																												
パフォーマンス																																																																																																															
前方ボール投げ (m)	12	1	9.8																																																																																																												
後方ボール投げ (m)	13.7	2	12.4																																																																																																												
上体起こし (回)	29	2	26.4																																																																																																												
柔軟性	瞬発力	バランス	筋力	パフォーマンス																																																																																																											
Tスコア	42.1	61.7	57.6	62.3																																																																																																											
コメント																																																																																																															

図 2. フィードバック用紙

令和 6 年度スポーツセンター事業報告



図 3. 希望選手に対するフォローアップ実施の様子

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ②

●担当部門 : 教育・研究部門 人間社会科学研究科 : 長谷川博, 柳岡拓磨

●継続・新規・単年度 : 継続

●事業名称 : 暑熱環境下のゲーム中の生体負担度の調査

●事業概要 :

地球温暖化などにより夏季におけるスポーツ環境が厳しさを増している。これらの状況はトップアスリートだけでなく、一般人及びジュニア・ユース年代においても同様であり、各年代におけるスポーツ活動中の熱中症は後を絶たない状況である。本プロジェクトでは、様々なスポーツ活動のゲーム中における生体負担度に関する基礎データを取得し、効果的な暑さ対策へと発展させることを目標とする。

●事業実績 :

本年度は夏季の暑熱環境下で試合が行われることが多いビーチバレーボールにおける生理指標を測定した。大学体育会男子バレーボール部員 11 名を被験者とし、湿球黒球温度 (WBGT) $31.0 \pm 0.9^{\circ}\text{C}$, 気温 $35.9 \pm 1.5^{\circ}\text{C}$, 相対湿度 $56.4 \pm 4.6\%$, 砂温度 $52.6 \pm 4.8^{\circ}\text{C}$, 風速 $2.3 \pm 1.0\text{m/s}$ の暑熱環境下で実施した。深部体温の測定は、非侵襲的方法であり熱流束の原理を利用した CORE を用いて測定した。心拍数は光学式心拍計を用いて測定した。深部体温は安静時 $36.9 \pm 0.1^{\circ}\text{C}$, ゲーム中 $38.5 \pm 0.3^{\circ}\text{C}$ であった。心拍数は安静時 $73.3 \pm 13.7\text{bpm}$, ゲーム中 $161.2 \pm 13.9\text{bpm}$ であった。発汗量は $859.8 \pm 78.4\text{g}$, 脱水率は $1.2 \pm 0.2\%$ であった。以上より、暑熱環境下でビーチバレーを行った際の生体負担度は非常に高いことが分かった。また、ビーチバレーの試合において、複数人の深部体温及び心拍数を非侵襲的かつ経時的に測定することが可能であることがわかった。今後も継続してスポーツ現場において生理的基礎データと共に運動パフォーマンスを指標とするデータを取得すること、身体冷却を含む暑熱対策を実施した方が良いことが示唆された。

令和6年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ③

●担当部門 : 教育・研究部門

人間社会科学研究科 : 長谷川博, 緒形ひとみ, 柳岡拓磨

病院診療支援部 : 福原幸樹

●継続・新規・単年度 : 継続

●事業名称 : 健康スポーツ科学セミナー

●事業概要 :

本学の教職員, 大学院生, 学部生に対し, スポーツ科学, 健康科学, リハビリテーションに関する情報をセミナー形式で提供し, 最新の科学的知見の習得や科学的根拠に基づく実践の方法論の習得を目的とする。

●事業実績 :

第1回 令和5年度実施事業発表会

日時 : 令和6年7月8日(水)16:30~18:00

場所 : オンライン

1. 広島大学体育系部活動でのスポーツ外傷・障がい発生の現状とデータベースの構築
浦辺幸夫, 前田慶明, 田城翼, 小宮諒, 平田和彦
2. トレーニング動画の配信が大学スポーツ選手の行動変容に与える影響
トレーニング動画の配信が大学スポーツ選手の行動変容に与える影響
小宮諒, 前田慶明, 田城翼, 浦辺幸夫, 平田和彦
3. Virtual reality を活用したスポーツ傷害後のリハビリテーションシステムの構築
前田慶明, 小宮諒, 田城翼, 栗田雄一
4. ジュニア年代におけるゲーム中の生体負担度の調査
長谷川博, 柳岡拓磨, 福原幸樹
5. 健康スポーツ科学セミナー
長谷川博
6. ウォーキング講座
田中亮
7. 運動器検診
田中亮
8. 広島大学体育会運動部員のメンタルトレーニング指導
関矢寛史

令和6年度スポーツセンター事業報告

第2回 ウォーキングポールを使用した歩行トレーニングが大腿骨近位部骨折術後患者におけるT字杖使用時の歩行能力に及ぼす効果（博士論文公聴会）

日時：令和7年2月5日（水） 15：00～16：00

場所：総合科学部事務棟2階 多目的室

演者：小野 晃路（広島大学大学院人間社会科学研究科）

第3回 暑熱環境下における受動的呼吸制限が運動中の高体温誘発性過換気に及ぼす影響（博士論文公聴会）

日時：令和7年2月6日（木） 13：00～14：00

場所：総合科学部事務棟2階 多目的室

演者：黒川 泰嗣（広島大学大学院人間社会科学研究科）

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ④

●担当部門 : 教育・研究部門

●継続・新規・単年度 : 継続

●事業名称 : ウォーキング講座

●事業概要 : 一般市民を対象にして、スポーツ医科学センター、広島市スポーツ協会、一般社団法人宇部スポーツコミッション、自治体(東広島市、広島市、地域センターと連携して、ウォーキング講座を開催する。講座では自分自身の歩き方を計測し、クセに気づき、クセを治すために必要な運動を実践する。筋肉や関節に過度な負担がかからない理想的な歩き方(ウォーキング)について解説する。

●事業実績 :

日時	会場	人数(概数)
5月28日、6月4日、6月11日	中区スポーツセンター	30
8月27日	原地域センター	30
10月5日	安芸区スポーツセンター 瀬野川ウォーク	100
9月27日、10月11日、25日	吉島公民館	30
10月30日	郷田地域センター	30
11月7日	大塚公民館	30
12月10日	安芸区公民館	30
12月13日	川上地域センター	30
2月14日	東区スポーツセンター	30
		340

●成果 : 340 名が参加した。

令和6年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ⑤

●担当部門 : 教育・研究部門

●継続・新規・単年度 : 継続

●事業名称 : 運動器検診

●事業概要 : 一般市民（大学生や高齢者を含む）を対象にして、広島市スポーツ協会、スポーツ医科学センター、地域センターと連携して、運動器検診を開催する。運動器検診では、体組成の計測、歩行計測、体力測定などを行う。参加者に結果をフィードバックし（説明含む）、標準値や過去の結果と比較してもらうことで、健康づくりに役立ててもらう。得られたデータは匿名化、データベース化して、学内外の教育・研究に活用する。

●事業実績 :

次ページ

●成果 :

測定会には550名が参加した。また、3月15日は広島大学広仁会館にてロコモ対策講演会を開催し、29名の一般市民が参加した（<https://sports.hiroshima-u.ac.jp/news/7117/>）。

論文が1編採択された。

Deguchi N, Tanaka R, Akita T. Association Between Sarcopenic Obesity and Frailty Risk in Community-Dwelling Older Women With Locomotive Syndrome: A Cross-Sectional Survey. Cureus. 2024 Jul 15;16(7):e64612.



令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業実績：

日時	会場	人数
4 月 17 日	ケアプラザ呉	14
4 月 24 日	ケアプラザ呉	17
5 月 18 日	広島大学	22
5 月 30 日	マエダハウジング東区スポーツセンター	14
6 月 5 日	高美ヶ丘地域センター	31
6 月 25 日	IHI アリーナ呉	16
7 月 18 日	大和興産安佐北区スポーツセンター	16
9 月 19 日	マエダハウジング東区スポーツセンター	34
9 月 26 日	熊野西ふれあい館	18
9 月 30 日	桜ヶ丘保養園	12
10 月 3 日	廿日市市平良市民センター	19
10 月 11 日	熊野西防災交流センター	23
10 月 19 日	熊野中央ふれあい館	18
10 月 24 日	大和興産安佐北区スポーツセンター	24
10 月 25 日	呉市スポーツ会館アリーナ	24
11 月 5 日	原地域センター	23
11 月 16 日	呉市スポーツ会館アリーナ	30
11 月 27 日	高美ヶ丘地域センター	34
12 月 6 日	マエダハウジング東区スポーツセンター	35
12 月 13 日	呉市昭和東まちづくりセンター	27
12 月 22 日	呉市つばき会館	21
1 月-2 月	倉敷平成病院	50
1 月 10	桜ヶ丘保養園	6
2 月 26 日	皆賀公民館	22
総計		550

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ⑥

●担当部門 : 教育・研究部門

●継続・新規・単年度 : 新規

●事業名称 : 運動教室

●事業概要 : 一般市民（大学生や高齢者を含む）を対象にして、広島市スポーツ協会、地域センターと連携して、運動教室を開催する。運動教室では、在宅でできる筋力トレーニングやストレッチを指導する。体力測定等を行い、参加者に結果をフィードバックして（説明含む）、健康づくりに役立ててもらう。

●事業実績 :

日時	会場	人数
5 月 10 日～8 月 16 日	呉つばき会館	9
7 月 17 日～9 月 4 日	東区スポーツセンター	9
9 月 3 日～12 月 10 日	熊野西ふれあい館	17
9 月 6 日～12 月 3 日	東広島市サンスクウェア	14
総計		49

●成果 :

49 名の高齢者が参加した。ロコモティブシンドロームの予防に役立つ運動、食事、睡眠について学習の機会を提供した。週に 1 回対面で 3 カ月間、運動指導を行った。開始前と比べて参加者の開始後の下肢筋力が有意に向上した。

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ⑦

●担当部門 : 教育・研究部門

●継続・新規・単年度 : 新規

●事業名称 : 教職員テニス教室

●事業概要 :

広島大学教職員の健康の維持増進のために、何歳になってもできるテニスを通して生涯教育の場を提供した。また、技能や体力のみでなく、ストレス発散や部局の枠を越えた人との繋がりを促進する場を全学組織であるスポーツセンターとして提供した。

●事業実績 :

6 月末から 7 月末の火曜夜 (6/25、7/2、7/9、7/16、7/30 の 18 時～19 時半) に東広島キャンパス第五テニスコートの 6、7 番コートにて初級者対象の教職員テニス教室を開催した。参加者は 17 名 (男性 5 名、女性 12 名) であった。また、スポーツセンターの関矢寛史と大学院人間社会科学研究科博士課程前期の西村茉莉の 2 名の指導者に加えて、教職員テニスチームから 2 名が球出し係として参加した。基本技能の練習に加えて、テニスのルールを学びゲームを行った。

●成果 :

体調不良や仕事の都合で各回 3～6 名の欠席があったが、各回の出席率は約 82%～65% であった。本教室参加者のうち 10 名が教室終了後に教職員テニスチームの練習に継続して参加し、運動の継続に繋がった。

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ⑧

●担当部門 : 教育・研究

●継続・新規・単年度 : 継続

●事業名称 :

ALL HIROSHIMA SPORTS SUMMIT

●事業概要

広島大学 75+75 周年記念事業・東広島市制施行 50 周年記念事業として、「いつまでも輝く・つながる自分を創り出すー世界で一番やさしいリスキリングとアントレプレナーシップの授業ー」をテーマに講演会を開催。急速に変化する現代社会において、時代に合ったスキルを身につけ、自分らしく生きるための実践的な方法を提供する機会とした。新しいスキルを学び直す「リスキリング」と、自らのアイデアを形にする「アントレプレナーシップ」の基本を学ぶ場を提供した。

●事業実績 :

令和 6 年 11 月 3 日 (日) に東広島芸術文化ホールくらら大ホールにて、第 34 回東広島市生涯学習フェスティバル記念講演会として実施。広島大学スポーツセンターと (公財) 東広島市教育文化振興事業団の共催で開催した。

講演者として、株式会社原田武夫国際戦略情報研究所 (IISIA) 代表取締役 (CEO) ・一般社団法人日本グローバル化研究機構 (RIJAG) 代表理事・広島大学客員准教授の原田武夫氏、広島大学大学院人間社会科学研究科教授の出口達也氏が登壇した。

開場は 12:30、開演は 13:00 から 16:00 までの予定で実施。原田武夫氏の講演時間は 14:15 から 16:00 までとして行われた。

●成果 :

※成果として実験結果の数字やグラフなどがありましたら記載をお願いします。

本イベントを通じて、東広島市民および広島大学関係者に対して、リスキリングとアントレプレナーシップについての理解を深める機会を提供することができた。特に以下の成果が得られた :

1. 広島大学スポーツセンターの活動と教育的取り組みを地域社会に広く周知できた
2. 広島大学と東広島市の連携強化につながった
3. 生涯学習の重要性を市民に啓発し、人生 100 年時代に向けた新しい学びの挑戦を促進した
4. スポーツを通じた社会貢献および地域活性化の可能性を示すことができた

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ⑨

●担当部門 : AD 部門

●継続・新規・単年度 : 単年度

●事業名称 : 東広島こどもスポーツキャンパス

●事業概要 :

東広島市内の児童に対して、未体験であったり、入門レベルであったりする各種スポーツの体験教室を提供する。教室を通じて、それぞれのスポーツの面白さや体を動かす喜び、友人らと協力することの大切さんなどを経験してもらう。

●事業実績 :

広島大学体育会の 9 の団体（馬術部、フットサル部、バレーボール部、柔道部、剣道部、バドミントン部、卓球部、硬式野球部、バスケットボール部）の学生が指導に当たり、東広島市内の小学生 188 名にスポーツ体験教室に参加いただいた。参加していただいた児童には、楽しくスポーツに親しんでいただくことができ、保護者からの事後アンケートに「とても優しく丁寧に教えて下さり、子どももとても楽しかったようです。」「子どもにとってとてもよい機会を提供していただいて、ありがとうございました。」等の意見があった。また、広島大学体育会の学生にとっても「これからもぜひ開催してほしい。」「参加児童ならびに参加学生にとって、よい経験の場となると思います。」といった意見があり、なかなか部活動以外で地域との繋がりのない中で、双方にとって貴重な経験となった。

「東広島こどもスポーツキャンパス」は 3 年前に開始し、今年で 4 回目となる事業で次年度以降も継続的に行っていき、スポーツセンターの目玉事業として進めていく。次年度以降は、普段体験することが難しいスポーツの体験教室の実施を検討する。保護者からのアンケートに「1 年に複数回実施してほしい」、「対象学年を増やしてほしい」という要望があり、最低でも年一回行うこととし、複数回行うこと、対象者の拡大を検討していく。また、大学生及び小学校のイベント時期と重複しない日程での実施を検討していく。

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

	
馬術教室	フットサル教室
	
バレーボール教室	柔道教室
	
剣道教室	バドミントン教室
	
卓球教室	野球教室
	
バスケットボール教室	

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ⑪

●担当部門 : AD 部門

●継続・新規・単年度 : 継続

●事業名称 :

サッカーC 級および D 級指導者養成講習会

●事業概要 :

広島大学内の施設にて広島県サッカー協会主催のサッカーC 級および D 級指導者養成講習会をスポーツセンターと共同開催し（全 8 日間もしくは 2 日間）、学内外から参加者を募り、サッカーD 級および C 級コーチライセンス（日本スポーツ協会公認コーチ 1）の資格を授与する。

●事業実績 :

サッカーC 級指導者養成講習会を 2025 年 1 月 4 日、5 日、11 日、26 日 2 月 2 日、8 日、9 日、15 日（8 日間）南グラウンドおよび総合科学部多目的室にて実施し、20 名の受講者の参加があった（うち広島大学の学生 2 名、別に補助学生として 1 名が参加）。最終試験合格者には、サッカーC 級コーチライセンス（日本スポーツ協会公認コーチ 1）の資格が付与され、大きな事故や怪我もなく終えることができた。なお、D 級に関しては、今年度は実施せず。

●成果 :

※成果として実験結果の数字やグラフなどがありましたら記載をお願いします。

学外参加者は 20 名、学内参加者は 2 名、運営やチューターの業務に教員と学生の 2 名が関り、3 年継続で合計およそ 70 名のサッカーC 級指導者をこの事業から輩出できている。

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ⑫

●担当部門 : AD 部門

●継続・新規・単年度 : 新規

●事業名称 : 骨から元気に若返り講座 体操教室

●事業概要 :

骨格強化するスマイルエクササイズ教室は、市民の健康増進と若返りを予防を目的とした事業である。骨格の構造を生かした運動を分かりやすく説明することで、身体機能を高め、市民の方々が気軽に家庭でも取り組むことを目指す。家庭でも実践できる効果的なエクササイズを指導した。

●事業実績 :

令和 6 年 11 月 11 日、25 日、12 月 2 日、16 日の全 4 回、月曜日 18:30~20:00 に市民文化センター（東広島市西条西本町 28-6）にて実施した。骨格の構造を生かした運動について専門的かつ分かりやすい指導を行った。

参加者は全 4 回参加できる方を対象とし、定員 40 名（抽選）で開催。参加費は無料とした。10 月 31 日（木）を申込締切とし、ハガキ、ファックス、窓口、メールによる申込を受け付けた。東広島市教育委員会委託事業とも連携・協力して実施した。

●成果 :

本講座を通じて、以下の成果が得られた

1. 参加者が骨格の構造に関する理解を深め、効果的なトレーニング方法を習得した
2. 家庭でも気軽に取り組めるエクササイズを普及させることができた
3. 「身体が弾めば心も弾む」というコンセプトのもと、身体的健康と精神的健康の両面からの健康増進を促進した
4. 広島大学の専門的知見を地域社会に還元する機会となった

令和 6 年度スポーツセンター事業報告

●事業 No. : ⑬

●担当部門 : 教育・研究、AD 部門

●継続・新規・単年度 : 継続

●事業名称 : スポーツセンター客員教授活動費

●事業概要 :

スポーツセンター客員教授による講演を年複数回実施し、広島大学の文化の醸成を促す。

●事業実績 :

講演者 : 野村 謙二郎

テーマ : 大学スポーツのかかえる問題点と今後について

日時 : 2025 年 3 月 13 日 (木) 15 : 00 ~ 16 : 30

場所 : 広島大学総合科学部 K 棟 211

対象 : 広島大学体育会各部

内容 :

これからのコーチングや広島大学の弱点と強み、ブランディングなどについて、講演いただいた。